



## 自己分析（その2）～学力調査結果より～

校長 井上 隆

9月号では、清瀬市学力調査および全国学力・学習状況調査の各教科の結果について報告と分析をいたしました。10月号では、全額対象の「児童・生徒の学力向上を図るための調査」（東京都）および3学年対象の「全国学力・学習状況調査」の質問紙調査の結果と分析したものを掲載いたします。質問紙調査内容としては、「児童・生徒の学力向上を図るための調査」（東京都）では、各教科の理解度、動機、進め方、学習習慣に関すること、全国学力・学習状況調査では、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関することについて調査したものです。

### 「児童・生徒の学力向上を図るための調査」（東京都）の結果より

「児童・生徒の学力向上を図るための調査」（東京都）について、『授業の内容はどのくらい分かりますか』という質問【授業の理解度】の結果について清瀬市、東京都と比較したものが以下の通りです。（※1:よく分かる 2:どちらかといえば分かる 3:どちらかといえば分からない 4:ほとんど分からない）

授業の内容をどのくらい分かりますか。

国語	1	2	3	4
三中	29.4	53.4	12.7	4.7
清瀬市	36.7	52.6	8.5	2.2
東京都	36.9	52.6	8.8	1.7

数学	1	2	3	4
三中	36.1	42.4	15.2	6.3
清瀬市	41.4	41.5	13.1	4
東京都	45.3	39.3	11.9	3.5

英語	1	2	3	4
三中	31	43	18.7	7.3
清瀬市	32.2	40.3	20.3	7.3
東京都	36.9	39.6	16.6	6.9

社会	1	2	3	4
三中	31.6	49.7	13.9	4.7
清瀬市	38.3	46.4	12.2	3.1
東京都	38.5	44.1	14	3.5

理科	1	2	3	4
三中	35.8	41.5	17.4	5.4
清瀬市	32	45.3	18.2	4.5
東京都	34.9	45.5	15.9	3.7

理科以外の教科は、「よくわかる」を選択した生徒について、清瀬市、東京都より下回り、英語以外は「ほとんど分からない」を選択した生徒について上回っています。9月号でも述べましたが、今後の「わかった、できた」と実感できる魅力ある授業づくりが課題

であることが分かります。特に、英語も含めて「ほとんど分からない」と選択した生徒への個に応じた指導が大きな課題となります。

#### また生徒の【学習の進め方】

について『分からないときは、他の人や先生に質問している』『どうしてそうなるかという理由を考えながら学習している』『答えだけでなく、考え方も確かめながら学習している』という質問について右記の通りです。（1:当てはまる 2:どちらかといえば当てはまる 3:どちらかといえば当てはまらない 4:当てはまらない）

授業等の学習の進め方で、授業規律の確立だけでなく、生徒のつまずきの防止策として「わかるようになりたい、知りたい」という考えのもと、学習の進め方についても指導していく必要があります。テスト前の質問教室だけでなく、授業中、授業後、放課後の時間の使い方等の時間、環境の確保を週時程、行事予定の教育課程レベルで検討していかななくてはならないと考えます。

分からないときは、他の人や先生に質問している

	1	2	3	4
三中	31.3	40.8	19.3	8.5
清瀬市	37.6	39	17.3	6.2
東京都	37.2	41.1	15.4	6.2

どうしてそうなるかという理由を考えながら学習している

	1	2	3	4
三中	27.2	46.5	17.7	8.5
清瀬市	34.4	43.9	16.5	5.3
東京都	31.7	45.9	17.1	5.3

答えだけでなく、考え方も確かめながら学習している

	1	2	3	4
三中	25.9	49.4	17.4	7.3
清瀬市	35.1	44.1	15.7	5.2
東京都	33.4	44.8	16.7	5.1

学校以外で平日に毎日およそどのくらいの時間、学習していますか

	1	2	3	4	5
三 中	9.5	28.8	26.3	19.3	16.1
清瀬市	13.9	30.9	27.1	17.3	10.8
東京都	15.2	32.4	26.2	15.5	10.7

また、【学習習慣】（学習塾や家庭教師による学習等を含めない）の時間について『学校以外で、平日に毎日およそどのくらいの時間、学習していますか』という質問について以下の通りの結果となります。

（1:毎日2時間以上 2:毎日1時間以上、2時間以下 3:毎日30分以上、1時間未満 4:毎日30分より少ない 5:全くしていない）

さらに、学習の方法について『自分で計画を立てて学習している』『教科書を読むなどして、授業でこれから学習することの見通しをもつようになっている』『教科書やノートを読み返すなどして、授業で学習したことを振り返るようにしている』『教科書やドリルの問題に取り組むなどして、学習したことを確認できるようにしている』という質問に対して右記の通りです。（1:当てはまる 2:どちらかといえば当てはまる 3:どちらかといえば当てはまらない 4:当てはまらない）

家庭学習については、学校と家庭との連携だけでなく、小学校との連携とが重要となってくると考えています。家庭での学習時間の確保、学習の進め方など、小中学校が連携し、9年間を連続する学習習慣が今後の課題となります。

自分で計画を立てて学習している

	1	2	3	4
三 中	23.4	44.5	22.3	9.8
清瀬市	28.6	39.9	21.8	9.7
東京都	29.7	39.2	22.2	8.9

教科書を読むなどして、授業でこれから学習することの見通しをもつようになっている

	1	2	3	4
三 中	17.7	38.5	30.6	13.2
清瀬市	20.8	34.4	30.3	14.5
東京都	20.5	34.1	30.5	15

教科書やノートを読み返すなどして、授業で学習したことを振り返るようにしている

	1	2	3	4
三 中	23	44.9	23.4	8.7
清瀬市	33.3	41.3	18.7	6.8
東京都	31	40.9	20.7	7.4

## 「全国学力・学習状況調査」の結果より

「全国学力・学習状況調査」の質問紙にも、「児童・生徒の学力向上を図るための調査」（東京都）と同様に

【授業の理解度】【学習の進め方】【学習習慣】についての質問があり、ここでは割愛させていただきます。

その他の質問事項について、授業改善の課題となる質問事項が以下のようにいくつかありました。

- (1) 1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。（1:ほぼ毎日） (2) 学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか (3) 1、2年生のときに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか

	ほぼ毎日	週3回以上	週1回以上	月1回以上	月1回未満		役に立つ	どちらかといえば役に立つ	どちらかといえば役に立たない	役に立たない		お当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない
三中	26.2	57.3	13.6	1.9	1	三中	66	26.2	6.8	1	三中	15.5	38.8	35	10.7
東京都	30.5	35.4	24.6	7.1	2.2	東京都	55.4	36.5	5.3	2.5	東京都	23.8	47	23.4	5.6
全国	28.1	33	26.4	9.6	2.7	全国	58.7	34.6	4.5	2	全国	22.7	46.4	24.7	5.8

(1) から授業でのタブレット等の使用頻度、(2) から生徒の学習でのタブレット等の必要性、(3)からは、個に応じた指導の定着度を表しています。個に応じた指導の一つとしてICTを活用した授業改善が求められています。本校では、タブレットを活用した指導が不十分であることは、教育委員会訪問での報告でも提示しました。今後は、ICT環境を整備し、校内での研修内容に取り入れていくこととしています。

さらに、右の表の(4)「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」については、授業での「対話的な深い学び」の実践が

- (4) 学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか

	1	2	3	4	5
三中	23.3	45.6	18.4	5.8	6.8
東京都	34.6	45.5	13.7	3.8	1.8
全国	34.3	45.4	14.1	4.2	1.5

できているか、(5)「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができますか」については、授業での「振り返り」による深い学びの実践ができているかが問われています。本校で、基礎学力定着に向けて、授業改善の視点として、「ねらい」から見通しをもって学習し、その時間の学びの「振り返り」を設定し次の授業へつなげることや対話的な活動として、課題に対して個で考え、集団で伝え合い、さらに個で考えをまとめる「個→集団→個」授業形態が主体的、対話的で深い学びの実現なるとしています。

- (5) 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができますか

	1	2	3	4
三中	18.4	38.8	35	7.8
東京都	23.8	46.7	23.3	5.6
全国	23.1	46.1	24.4	5.7

「生きる力」となる確かな学力を身に付けさせることは、我々教師、学校の責務であり、本校の大きな課題です。諦めることなく、妥協することなく、校長としてのミッションを実現するためのビジョンを常に進めてまいります。

### ～9月の行事より③～赤ちゃんのカ プロジェクト（3年生）

9月14日(木)にNPO 法人子育てネットワーク・ピッコロさんの協力のもとで行われました。歳の離れた弟や妹がいる人は別として、中学校に入学してから、赤ちゃんを抱っこしたり、おもちゃであやしたりしたことのある人はそんなに多くないかと思います。そのため、最初は緊張した面持ちで赤ちゃんと対面していた感がありました。

そんな不安も交流が始まってみると、赤ちゃんの可愛さに癒され、離乳食を食べさせたり、体をマッサージしてあげるなどのふれあいをした人もいました。今回の経験を通して、今まで自分がどれだけ保護者の方から愛されてきたのか、実感できた生徒も多かったと思います。一番は、自分が親になって初めて親のありがたみを感じるのでしょうか、何かしらの気づきや発見につながる、貴重な時間を過ごすことができました。



### 「清瀬の100冊」読書感想文コンテスト

夏休み中に、「清瀬の100冊」を読むことを通して、本に親しむ機会を作り、読書の習慣化を図ることを目的としています。

本校からは、2編推薦いたしました。

#### 2C 清水 誠矢さん

『世界がもし100人の村だったら3  
〈たべもの編〉』

#### 1C 佐野 友絆さん

『自閉症の僕が跳びはねる理由』

### ビブリオフォーラム

～清瀬教育の日(10/21<土>午後)～

<第1部>市内各校児童・生徒による

書評発表会

本校からは、1A 雨宮 早希さん

が出演します

<第2部>「図書館を使った調べる学習

コンクール」審査結果の発表・表彰式

優秀賞 2A 福嶋 優芽さん

おめでとうございます！

### 10月の予定

- 2日(月) 全校朝礼、安全指導
- 4日(水) 避難訓練(紙面)、中央委
- 5日(木) ④カット、専門委・中央委、学納金引落日
- 6日(金) ⑥2年認知症サポーター養成講座、英検
- 12日(木) 選択制学校説明会
- 13日(金) ⑥3年進路説明会
- 17日(火) 1年地域学習<川越>
- 18日(水) ⑤生徒総会
- 19日(木) 清瀬教育の日<①～⑥授業公開>
- 20日(金) 清瀬教育の日<①～⑥授業公開>  
⑥「命の教育」講演会
- 21日(土) 清瀬教育の日<①～④授業公開>  
給食あり
- 23日(月) 振替休日<21日分>
- 25日(水) ⑤カット
- 26日(木) 3年個人面談始 ～10/6(月)まで
- 30日(月) 全校朝礼、安全指導
- 31日(火) 2年地域学習<都内>

### 清瀬教育の日 ご案内

10月19日(木)  
20日(金)  
21日(土)の3日間は、  
『清瀬教育の日』です。連日、  
授業公開になります。

各クラスの時間割については、  
当日、受付にて掲示物でお知らせ  
いたします。

### ホームページもご覧ください

合唱コンクールをはじめとする学校行事、  
授業の様子や生徒の活動、給食の献立や  
教育関連の情報など日々更新  
しております。  
QRコードからアクセスして  
ぜひご覧ください。



## ～9月の行事から①～ **修学旅行**

現在の中学3年生は、小学校6年生から新型コロナウイルスの影響で、様々な学校行事を実施することがないまま、今に至ります。そのため、少しでも多くの体験を味わわせてあげたい、という学年の先生方の強い意向で、行先は北陸の金沢方面に決定した、という経緯がありました。



主な行程は、1日目は市内班行動。2日目は、金沢城公園・兼六園を、地元の金沢商業高校の生徒のボランティアガイドと一緒に散策。そして昼食後に、「春蘭の里」という農家の集落に“民泊”させてもらうというものでした。



3年生の感想文を抜粋して紹介します。

○初めはふつうとは違う生活に対する抵抗から、マイナスなイメージしかもてなかったのですが、実際行ってみると、ふだん体験できないものやことがばかりで、行く前の気持ちを十分にかき消すくらい楽しめたし、達成感、次に対する好奇心を感じられました。また、民泊中に体験した藍染めでは、自分の好きなように模様をつくり、個性がとても出ていて、伝統文化に触れられた喜びを感じました。今の日本には、第一次産業を営んでいる人が少ないなか、春蘭の里のみなさんのように、自分の好きなことを楽しそうにやる里のみなさんを見て、とても伝統工芸や漁業、林業に興味を引かれました。(B組女子)

○人生初の民泊はすごく不安で、何でわざわざ知らない人の家に泊まるんだよと思っていました。しかも春蘭の里の人は高齢の方が多かったし、リーダーの人が怒るかもしれないと言っていたので民泊に1ミリも期待していませんでした。しかし、家の人と話してみると少しの会話だけですごく優しい人だとわかり、偏見はよくないと気付きました。家の前は海で後ろが山という自然に囲まれた場所だったので、ふだん体験できないことができてすごく楽しかったです。

僕は偏見をいくつももったまま石川に行きましたが、どれもよいものばかりでした。前は京都の方が行きたかったけれど、今では修学旅行先が石川県で本当によかったです。(C組男子)

## ～9月の行事から②～ **合唱コンクール**

忙しい行事の合間をぬって、例年より1か月ほど早い日程で合唱コンクールが行われました。

3年生は修学旅行の余韻に浸る間もなく、練習が本格化するも、なかなか気持ちの切り替えに時間がかかった様子でした。2年生は、本番を翌週に控え、新型コロナウイルスが流行し、放課後の練習を数日間、見合わせることになりました。1年生は初めての合唱コンクールで、試行錯誤しながらの練習でした。

各学年、不安材料を抱えながら、本番当日を迎えることになりました。どうなることか、といつになく先生方も心配の面持ちで見つめる中、合唱コンクールがスタートすると…

『世界にはじける三中の歌声  
～Let's sing. Let's have fun.～』



そこは、さすが三中生！！手前味噌になりますが、大舞台に強い。舞台上で堂々と、ホールに響きわたる歌声を聴かせてくれました。本番に至る過程で、どのクラスも喜怒哀楽、色々あったと思います。ここで築き上げたチームワークを、今後の学校生活の中で発揮していくことを願っています。

